資料編

Ⅰ．公共施設等総合管理計画個別施設計画策定の経緯

Ⅱ．市民意識調査（市民アンケート）の結果

Ⅲ．公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定にかかる
　　市民意見交換会

Ⅳ．公共施設等総合管理計画個別施設計画素案に関する
　　意見募集（パブリックコメント）の結果

Ⅰ．公共施設等総合管理計画個別施設計画策定の経緯

年月日	内　　容
R2. 5.22	第１回能代市公共施設等マネジメント推進調整会議
5.29	第１回能代市公共施設等マネジメント推進会議
6.26	市民意識調査（市民アンケート）の実施（7.16 まで）
	（市内に在住する満 18 歳以上の男女 2,000 人、回答率 46.4%）
8.28	各所管課における個別施設計画素案の確認作業
10.21	第２回能代市公共施設等マネジメント推進調整会議
10.30	第２回能代市公共施設等マネジメント推進会議
11.18	市民意見交換会の開催（二ツ井地区：市役所二ツ井町庁舎　参加者７名）
11.19	市民意見交換会の開催（能代地区：市役所本庁舎　参加者７名）
11.26	公共施設管理者アンケートの実施（関係５団体）
12.10	市議会総務企画委員会に個別施設計画素案の説明
R3. 1. 4	意見募集（パブリックコメント）の実施（2.3 まで）
	（寄せられた意見書　１通）
2. 9	第３回能代市公共施設等マネジメント推進調整会議
2.15	第３回能代市公共施設等マネジメント推進会議
3. 5	市議会総務企画委員会に個別施設計画案の説明
	個別施設計画策定

能代市公共施設等マネジメント推進会議及び推進調整会議

◆推進会議の所掌事項

・能代市公共施設等総合管理計画の推進に関すること。

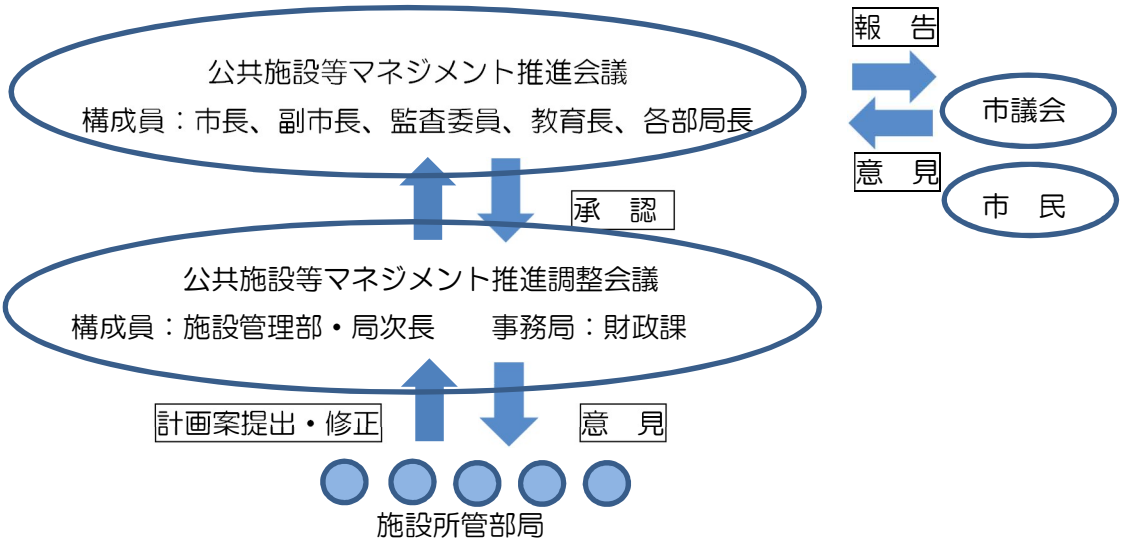
・公共施設等の施策に関すること。

・その他公共施設等のマネジメントに関すること。

◆推進調整会議の役割

・計画内容のチェック

・削減率及び庁内調整等についての検討



Ⅱ．市民意識調査（市民アンケート）の結果

市の公共施設について

【問】

市の公共施設の分類の中で、よく利用する施設はどれか。（3つまで）

		R2年度回答		≪R2新規調査≫
		回答数	割合	順位
1	集会施設	55	5.9	4
2	文化・生涯学習施設	102	11.0	3
3	スポーツ施設	147	15.8	2
4	産業・観光施設	15	1.6	8
5	学校教育系施設	23	2.5	6
6	子育て支援施設	24	2.6	5
7	保健・福祉施設	23	2.5	6
8	特に利用していない	625	67.3	1
9	その他	14	1.5	9
10	無回答	32	3.4	
合計		1,060	114.1	

※構成比は、回答者928人に対する割合

1位は「8.特に利用していない」で67.3%、2位は「3.スポーツ施設」で15.8%、3位は「3.文化・生涯学習施設」で11.0%となった。

【問】

市では、人口減少などに伴い税収減が見込まれており、限られた財源の範囲で公共施設のサービスを提供していくために、今後３０年間で公共施設の延床面積を３５%削減することを目標としている。

今後、どのようなことに優先的に取り組むべきだと思うか。（3つまで）

		R2年度回答		≪R2新規調査≫
		回答数	割合	順位
1	施設を統廃合又は集約化・複合化して、施設数を減らす	376	40.5	2
2	できるだけ建替えはせず、空き施設を利用して、施設数を減らす	424	45.7	1
3	民間に施設を運営移管又は譲渡して、コストや施設数を減らす	255	27.5	5
4	地域に密着した施設は地域において管理運営を行い、コストを減らす	275	29.6	3
5	近隣自治体と共同で使用し、類似施設を減らす	265	28.6	4
6	施設を計画的に改修し、できるだけ長く使用する	225	24.2	6
7	サービス水準を引き下げ、できるだけ施設数を維持する	57	6.1	8
8	利用者負担を引き上げ、できるだけ施設数を維持する	85	9.2	7
9	その他	32	3.4	9
10	無回答	39	4.2	
合計		2,033	219.0	

※構成比は、回答者928人に対する割合

1位は「2.できるだけ建替えはせず、空き施設を利用して、施設数を減らす」で45.7%、2位は「1.施設を統廃合又は集約化・複合化して、施設数を減らす」で40.5%、3位は「4.地域に密着した施設は地域において管理運営を行い、コストを減らす」で29.6%となった。

Ⅲ.-①　公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定にかかる市民意見交換会

（二ツ井地区）

令和２年１１月１８日（水）
午後６時３０分～午後７時３０分
市役所二ツ井町庁舎２階大会議室
参加者７名

●当日の市民意見交換会の様子





◆主な意見等

Q．予算を考えると削減しなければいけないのは分かるが、なぜ、延床面積で減らすのか。
A．経費を抑える必要があるが、金額だけでは分かりづらいところがあるため、面積換算という手法を取っている。

Q．全体計画概要版の今後の更新費用試算額には解体費用も含まれているか。
A．解体費用も勘案している。

Q．全体計画概要版の今後の更新費用試算額は、これまでと比べ１.６倍となっているが、一人当たりに換算するとどうなるか。
A．今現在の一年当たりの投資的経費５３億円を人口で割り返すと、一人当たり１０万円程度となっているが、今後人口が減っていくことから、一人当たりの経費は１.６倍よりも大きくなっていくと予想される。

Q．今後、地域への説明はあるのか。
A．廃止時期については、状況を見ながら検討していく。今後、地域の方々のご理解をいただきながら所管課において進めていくこととなる。

Q．旧種梅小学校は廃止となっているが、今後どうなるのか。
A．廃止時期について、状況を見ながら決めていく。

Q．施設を廃止する際、住民に説明はあるか。
A．地域の方々に説明しながら進めていく。

Q．公民館分館の基本的な方針が廃止となっているが、屋根等が壊れた場合、市において修繕はするのか。
A．老朽化の度合いやかかる金額等により判断することになると思われる。

Q．人口減少が問題となる中、予算的な余裕はあるのか。
A．大変厳しいが、教育施設の長寿命化計画等も策定し、動き始めている。個別施設ごとにやっていけるかどうかは、優先度を考えざるを得ないと考えている。

Q．杉ホールひびきは縮減対象となっているが、今後どうなるのか。
A．存続、廃止、縮減等いろいろ方法はあり、全体の枠の中で考えていくこととなる。

Ⅲ.-②　公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定にかかる市民意見交換会

（能代地区）

令和２年１１月１９日（木）
午後６時３０分～午後７時３０分
市役所本庁舎３階会議室９・１０
参加者７名

●当日の市民意見交換会の様子





◆主な意見等

Q．縮減対象とはどのような内容か。
A．老朽化や建替えのタイミングで他施設と集約、移転したり、また、どうしても減らせないとすれば存続ということもある。全体として調整しながら削減していくこととなる。

Q．働く婦人の家はどうなっているか。
A．縮減対象となっており、近隣施設と一体的に考えていく。

Q．旧東中跡地については新たな施設建設の話があるが、これとの関係はどのようになっているのか。
A．まだ正式なものではなく、個別施設計画の中には入っていない。令和元年度までのものが入っている。

Q．子どもを産み育てやすい環境づくり、人口の減少スピードを遅くすることが必要である。働く場を作るだけでなく、働く人が求める公共施設について検討してもらいたいと思うがいかがか。
A．ただ施設を減らしていくのではなく、ニーズに合わせて進めていきたい。

Q．廃校となっている建物について、民間業者からの活用の声はあるか。
A．民間業者からの活用の声はない。地元住民と話し合いをしている地域はある。

その他、公共施設の利活用に関する提言あり。

① 旧竹生小学校について

・避難場所として存続

・北地域包括支援センターとして活用

・郵便局の入居

（参加した地域住民の意見）

昨年から地域で話し合いをしているが、なかなか活用案がない。水が止まっているので避難場所としては難しいと考えている。介護関連や郵便局があればありがたい。

② 旧鶴形小学校について

・鶴形地域センターと鶴形診療所を移転

・郵便局入居や避難場所

・南地域包括支援センターとして活用

・現在の鶴形地域センターを集会所として活用

・地域センターの裏手にある集会所の廃止

③ 旧朴瀬小学校について

・農業技術センターとして活用

・檜山城跡発掘調査による出土品の保管については、旧朴瀬小学校ではなく檜山地区で保管、管理して一般展示するべき。

→上記について、小規模校統合後の空き校舎等利活用担当部署へ情報提供することとした。

Ⅳ．公共施設等総合管理計画個別施設計画素案に関する意見募集（パブリックコメント）の結果

能代市公共施設等総合管理計画個別施設計画素案について、意見募集の結果を公表します。このたびは、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

１　募集期間：令和３年１月４日（月）～令和３年２月３日（水）

２　募集方法：広報のしろ、市ホームページで周知するとともに、市役所行政情報コーナー、二ツ井町庁舎市民フロア、各地域センター（向能代、南、扇淵、檜山、鶴形、常盤）、富根出張所に閲覧資料を置き、意見を募集しました。

３　寄せられた意見書：１通

４　提出された意見等の概要及び市の考え方

提出いただいた意見等の概要	市の考え方
能代市公共施設等総合管理計画（概要版）資料２、４ページ⑥維持管理・修繕・更新等の実施方針の具体的記述にて、「施設の更新に当たっては、需要に応じた適切な規模とするとともに、施設の複合化を進めます。また、市民ニーズの変化に柔軟に対応していくため、用途変更しやすい簡素な施設設計の導入に努め、ＰＰＰ/ＰＦＩ等の民間活力の積極的な活用も推進していきます。」とありますが、施設の更新で建替えや新施設計画が立案された場合、将来、新設計された建築物は、足場など機材を不要とした点検期間短縮と低コスト化が図れる建築設計を行い、維持管理費の負担軽減も計画に記述すべきでないでしょうか。	貴重なご意見ありがとうございます。 財政状況や人口構造に見合った施設サービスを提供していくため、今後、公共施設等の長寿命化や維持管理コストの削減等が必要となってきますが、施設の点検に関わる維持管理費の負担軽減についても、大事な考え方の一つであると認識しております。施設建設に当たっては用途変更しやすい簡素な設計等の導入に努めておりますが、コストの削減に関して、さらに、今回いただいたご意見の内容も含めて、全体計画である公共施設等総合管理計画の見直しの際の参考とさせていただきたいと考えております。